

令和 7 年度設備設計一級建築士講習

修了考査一Ⅱ（設計製図）

答 案 用 紙

次の注意事項をよく読んでから始めて下さい。

[注意事項]

1. 答案用紙は、修了考査区分ごとに、次の 2 枚の構成となっています。
 - ・設備計画（必須）：「答案用紙(1)」として A 3 判 1 枚で、解答欄が示されています。
 - ・設備設計（選択）：「答案用紙(2)・空調・換気設備（選択）」、「答案用紙(3)・給排水衛生設備（選択）」及び「答案用紙(4)・電気設備（選択）」として A 2 判を二つ折りにしたもの（A 3 の大きさ） 1 枚で、それぞれ解答欄が示されています。
2. 答案用紙は、合図があるまでこの面以外の面を開けてはいけません。
3. 設備設計（選択）の解答に当たっては、この答案用紙を裏返す等をして、A 3 の大きさに折ったうえで選択する設備（空調・換気設備、給排水衛生設備又は電気設備）の答案用紙を表面にして使用するようして下さい。
4. 各答案用紙の「講習地、受講番号及び氏名」欄のすべて（計 4 か所）を記入して下さい。
5. 答案用紙(1)の選択欄には、設備設計で選択する区分の記号（A（空調・換気設備）、B（給排水衛生設備）、C（電気設備）のうちいずれか一つ）を記入して下さい。
6. 答案用紙(2)～(4)のうち選択をしない答案用紙は、下書き、計算等に使用しても差しつかえありません。
7. 答案用紙（計 2 枚：設備計画 A 3 判 1 枚、設備設計 A 2 判を二つ折りにしたもの（A 3 の大きさ） 1 枚）は、すべて退席の際に回収しますので、絶対に持ち帰らないで下さい。

空調・換気設備

問 1

快適な室内環境の創造に配慮した要点	①	
省エネルギー及びCO ₂ 排出量削減に配慮した要点	①	
	②	

問 2

空調方式の記号	選 定 し た 理 由	
	①	
	②	
(一つのみ記入)		

問 3

空調冷熱源設備容量の想定

kW

空調温熱源設備容量の想定

kW

給排水衛生設備

問 4

システム構成	①	
	②	
維持管理	①	

問 5

システム構成	①	
	②	
維持管理	①	

問 6

各階における器具排水負荷単位の合計(汚水)

各階における器具排水負荷単位の合計(雑排水)

排水立て管の器具排水負荷単位の合計(汚水)

排水立て管の器具排水負荷単位の合計(雑排水)

電気設備

問 7

照度、光源選定及び照明方式	①	
	②	
制御	①	

問 8

仕様・容量	①	
	②	
運転時間	①	

問 9

受変電設備の総容量

kVA

問10

契約電力(業務用電力契約)

kW

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
講 習 地				受 講 番 号				—				氏 名		

設備設計で選択する 区分の記号を選択欄 に記入すること。		
区分の記号		
C	B	A
電 気 設 備	給排水衛生設備	空調・換気設備
選 択 欄		

問 1

系 統 図

屋外機器置場

▽塔屋階

SS

機械室 1

事務室

大会議室

機械室 2

SS

▽ 6 階

SS

機械室 1

事務室

機械室 2

SS

▽基準階

問 2

インテリア空調機の機器能力表

導入新鮮空気量	送風量	冷却コイル入口の 混合空気の比エンタルピー	冷却コイル能力	設計冷水量
m ³ /h	m ³ /h	kJ/kg (DA)	kW	L/min

問 3

機械室 2

事務室

基準階事務室等
平面図
縮尺 1：200

機械室 2

SS

基準階機械室 2
平面図
縮尺 1：100

1	2	3	4	5	6
講 習 地	受 講 番 号	—	氏 名		

問 1

系 統 図

▽屋上 2（高置水槽置場）

▽塔屋階

▽ 6 階

▽ 5 階

▽ 2 階

▽ 1 階

上水本管

上水給水設備

雑用水給水設備

雨水ます

問 2

機 器 表

機 器 名	仕 様	
上 水 受 水 槽	有効容量	m ³
雑用水受水槽	有効容量	m ³
上水揚水ポンプ	揚 水 量	L/min
	全 揚 程	kPa
	必要電動機 定 格 出 力	kW
給 湯 器	貯 湯 量	L
水道引込み管	給 水 量	L/min
雨 水 貯 留 槽	有効容量	m ³

問 3

男子トイレ

SS

汚水通気立て管
汚水排水立て管
雑排水通気立て管
雑排水立て管

雑用水給水立て管
上水給水立て管

基準階男子トイレ平面図
縮尺 1：50

1

2

3

4

5

6

講 習 地

受 講 番 号

氏 名

3

令和7年度設備設計一級建築士講習 修了考査Ⅱ（設計製図） 答案用紙（3） 設備設計 給排水衛生設備（選択）

